



# 将来 子どもが欲しいあなたへ

“GSH（性尊保健）”は、男女の健康問題が身体構造、ライフスタイルや生活の場、地域社会の慣習などによって異なることに注目した健康支援の研究・実践です。

今回の公開講座のテーマは、不妊症です。

現在、6組に1組のカップルが不妊であると言われており、治療を受けるカップルは増加傾向にあります。不妊の原因・現状等を含め男女の特性を配慮した医療のあり方や、若年からの妊娠に備えた身体づくりの大切さについて、考える良い機会になればと思います。

男性と女性の健康問題として、若い世代から子育て・孫育て世代まで、

たくさんの方の参加をお待ちしております。

## 基調 講演

### 「未来の妊娠に備えた健康な身体づくり」

新潟大学 男女共同参画推進室 林はるみ 准教授

## 特別 講演

### 「不妊状況にある男女の特性を配慮した医療のあり方」

日本不妊カウンセリング学会 理事 佐藤孝道 医師

【日時】2015年12月12日（土）13:00～15:00（受付12:30より）

【会場】新潟大学 医学部 保健学科 D41 講義室



タクシー：JR新潟駅前（万代口）から約10分

バス：JR新潟駅前（万代口）駅前バスターミナル

1) 市内各線「東中通」下車、徒歩5分

2) 浜浦町経由 信濃町・西部営業所行「附属学校入口」下車、徒歩1分

※資料準備のため、できるだけ事前申込みをお願いします。当日参加もOKです。

#### 申し込み・問い合わせ先

新潟大学大学院保健学研究科事務室

TEL: 025-227-2354/FAX: 025-227-0715

E-mail: [gsh-center@clg.niigata-u.ac.jp](mailto:gsh-center@clg.niigata-u.ac.jp)

<月～金（祝日を除く）9:00～17:00>

この公開講座は、日本不妊カウンセリング学会の補助事業として助成を受けたものです。



# 性尊保健は

## …男性と女性の健やかライフのキーワード

「性尊保健」(GSH)は、男女の身体の違いとともにライフスタイルや生活の場、  
伝統や慣習なども考慮に入れて、心とからだのトータルな健康支援を行い、  
保健学を推進することを目的とする研究・活動です。

新潟大学大学院保健学研究科は、

性尊保健の研究・推進を通じて地域貢献を行うことをめざし

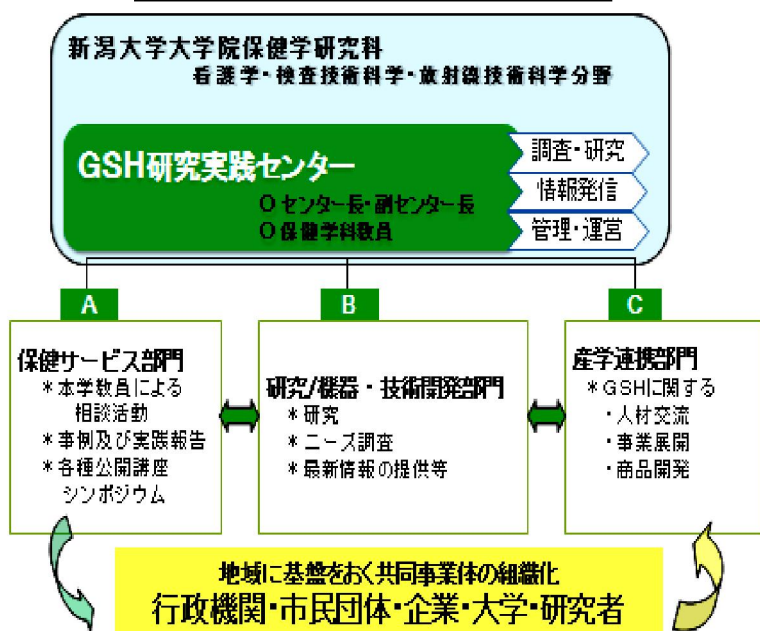
2009年に「GSH研究実践センター」を設立し活動しております。

GSH研究実践センターでは、一般市民の方に向けた保健サービスとして、

「女性と男性のこころとからだ・性の相談活動」の実施、

市民公開講座やシンポジウムなどを開催しています。

GSH 研究実践センター組織図



地元の企業と共同で  
性差を考慮した医療用品・機器の  
技術開発研究を展開し  
行政や市民団体等と連携して  
男性と女性がいきいきと  
健やかに暮らせる  
地域づくりをめざしています